

アジア生産性機構 (APO)

60周年記念カンファレンス

開催のご案内

【開催日時】 2021年6月10日 (木) 14:00～17:30
【開催方式】 オンライン (Zoomウェビナー)

アジア生産性機構 (Asian Productivity Organization: APO) は、日本を含むアジア8カ国が提唱し1961年に設立された国際機関です。現在はアジア太平洋地域の21ヶ国・地域が加盟しており、各国・地域に設置されている生産性機関の一つとして日本生産性本部もAPOの諸活動に参画しています。本年APO設立60周年を迎えるにあたり、記念カンファレンスを開催する運びとなりました。ポストコロナを見据えた社会・経済の変化やデジタル技術の飛躍的な進展など、生産性向上に向けた主要議題をAPO加盟国と共に考える機会となりますよう、ご視聴賜りたくご案内申し上げます。

プログラム

14:00～14:20

開会挨拶

14:20～14:30

60周年記念セレモニー

14:30～14:50

基調講演「ポストコロナ時代の社会経済の展望」

ポール・クルーグマン氏 2008年ノーベル経済学賞受賞者

14:50～16:10

セッション1「労働力の質：経済成長と安定した社会形成を実現する人的資源投資」

島田 由香氏 ユニリーバ・ジャパン・ホールディングス 取締役 人事総務本部長

フランシス・ショーレ氏 The Human Company 創設者/代表

ヴェッセリーナ・ステファノヴァ・ラチェーヴァ氏 世界経済フォーラム 研究員・アナリスト

富山 和彦氏 経営共創基盤グループ 会長 (モデレーター)

16:10～16:20 休憩

16:20～17:25

セッション2「スマート・トランスフォーメーション：
共創によるイノベーションが変える未来～持続的な付加価値創出～」

オードリー・タン氏 中華民国 (台湾) デジタル担当大臣

上野山 勝也氏 PKSHA Technology 代表取締役

松尾 豊氏 東京大学大学院工学系研究科 人工物工学研究センター/技術経営戦略専攻
教授 (モデレーター)

17:25～17:30

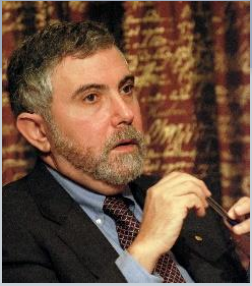
閉会挨拶

※プログラム内容は変更となる場合がございます。予めご了承ください。

共催:アジア生産性機構・日本生産性本部

アジア生産性機構 (APO) 60周年記念カンファレンス

【主な登壇者略歴】



ポール・クルーグマン氏

ニューヨーク市立大学大学院センター (CUNY) 教授。
経済学者、ニューヨーク・タイムズコラムニスト。
2008年にノーベル経済学賞を受賞。1974年、イェール大学卒業。1977年、マサチューセッツ工科大学で博士号を取得。その後、マサチューセッツ工科大学教授、スタンフォード大学教授、プリンストン大学教授などを歴任。2000年からは「ニューヨーク・タイムズ」でコラムを執筆。著書には『世界大不況からの脱出 なぜ恐慌型経済は広がったのか』、『さっさと不況を終わらせろ』など、多数。



富山 和彦氏

経営共創基盤 (IGPI) グループ会長。株式会社日本共創プラットフォーム代表取締役社長。
ポストンコンサルティンググループ、コーポレートディレクション代表取締役を経て、産業再生機構COOに就任。機構解散後、2007年にIGPIを設立し代表取締役CEO就任。パナソニック社外取締役。経済同友会政策審議会委員長他。東京大学法学部卒、スタンフォード大学経営学修士 (MBA)、司法試験合格。
主著に、『なぜローカル経済から日本は甦るのか GとLの経済成長戦略』『決定版 これがガバナンス経営だ!』『AI経営で会社は甦る』『コロナショック・サバイバル』『コーポレート・トランスフォーメーション』他。



松尾 豊氏

2019年4月より東京大学大学院工学系研究科 人工物工学研究センター/技術経営戦略学専攻 教授。
2017年6月より、日本ディーブローニング協会 理事長。
2019年6月より、ソフトバンクグループ株式会社 取締役 (社外)。
2020年6月より、人工知能学会 理事、情報処理学会 理事。
1997年3月東京大学 工学部電子情報工学科 卒業、2002年3月東京大学大学院 工学系研究科電子情報工学 博士課程修了、博士 (工学)。

※一部の海外からのゲストはビデオ出演の予定です。

お申し込み

ご視聴をご希望の方は、以下のURLからお申し込みください。

https://zoom.us/webinar/register/WN_E-x_v4crSaux2jvseR-qhw